

調査相談(レファレンス) 事例紹介

2



Question

マーガレット・ミッチェル／著の『Gone with the Wind（風と共に去りぬ）』のタイトルの由来はなんですか？



Answer

『Gone with the Wind』は、アーネスト・ダウソン（英国の詩人）の詩『シナラ』の一節にある“I have forgot much, Cynara! gone with the wind”を引用したものだそうです。このタイトルに決定するまでには数多くの候補があり、例えば主人公のスカーレットが口癖のようによくつぶやく言葉である『Tomorrow Is Another Day（明日は明日の風が吹く）』等、“Tomorrow”という言葉の入ったタイトルが多くありました。しかし、仮タイトルとしていた『Tomorrow Is Another Day』はすでにこのタイトルの本が存在し、“Tomorrow”という言葉の入ったタイトルの本も数多く出版されていることが判明したため、仕切り直しとなった…という経緯があるそうです。

また、タイトルと同じく、登場人物の名前や地名も決定までに紆余曲折があったようで、特に登場人物の名前については、小説と同じ時代のクレイトン郡（小説の舞台）に実在しない名前を見つけるため、税務台帳や軍の隊員名簿等を何週間にも渡って調べたそうです。しかし、実は一人だけ登場人物と同名の人物が実在すると出版直前に判明！その人物の名前はジェラルド・オハラ（主人公の父の名）。マーガレット・ミッチェルは“アトランタにジェラルド・オハラ司教が任命される”という新聞記事でこの事実を知ったそうですが、すでに本は印刷中で変更不可。出版後、司教に謝罪の手紙を送っています。出版当初は司教も当惑したようですが、大きな問題に発展することもなく、彼は後に大司教となり、また、終生変わらぬミッチェル家の友人となったそうですよ。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① 世界文学全集 21（風と共に去りぬ）	ミッチェル／著	河出書房新社	1967	09334335
② マーガレット ラブ・ストーリー	マリツ・ウォーカー／著	講談社	1996	06311070
③ 夕への道 マーガレット・ミッチェルの生涯	アソ・エドワーズ／著	文芸春秋	1986	00926030
④ マーガレット・ミッチェル物語	フィニス・ファー／著〔他〕	河出書房	1967	所蔵なし

※参考文献④は当館に所蔵はなく、国立国会図書館デジタルコレクションにて閲覧可能

今回ご紹介した他にも調査相談（レファレンス）事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ＞調査相談＞調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008